

# みなさんの声ありがとうございました

## 平成19年度町政懇談会

昨年の10月から11月にかけて開催した町政懇談会には多数の参加をいただき、ありがとうございました。

懇談会は、町民のみなさんの目線で身近な町政を心がけ、町民のみなさんと行政が一体となるような行政運営をするために開催したものです。

懇談会では、前回実施した懇談会の内容を踏まえ、ご意見が多かった事項についてテーマを設け、みなさんからのご質問やご意見をお聞きし、それに対しての町の施策をご説明する対話形式で行いました。

懇談会に寄せられたみなさんの「声」を大切にして、定住と交流と快適環境の町づくりを推進していきます。

みなさんから寄せられたご質問、ご要望に対しての町の施策について、主なものをご紹介します。

### 子育て、子育てしやすいまちづくり

#### ◇教育環境について

##### ▼町長説明概要

学校については、教育委員会で教育環境における方針を出しています。

##### 【方針の概要】

○幼児教育施設  
子どもを生み育てやすい環境の整備と多様化する保育需要に対応するため、幼保連携施設を整備し、併せて現行の幼稚園、保育園、児童園を統合する。(夏井おおすぎ保育園は当面の間継続)

##### ○小学校

町内6校を統合して1校とし、新しい小学校校舎の建設

整備を行う。また、早期に複式学級の解消を図る。  
○中学校  
老朽化の著しい小野中学校の改築整備を行い、併せて町内2中学校を統合する。  
○学校給食  
学校給食の提供を統合後の中学校で行う。  
就学前の教育充実、よりよい学校環境を作るため、町長としてもこの方針を尊重して進めていきたいと考えています。

#### Q 学校新校舎建設整備後の財政状況への影響は?

A 予算配分を工夫して、費用が不足する場合は借り入れ

をする必要があります。財政的に困難でも必要なところにはお金をかけるべきで、小野中学校の建設を最優先に取り組みたいと考えます。

#### Q 学校統廃合の場所は?

A 学校から近くとも送迎を行っていることも踏まえて、集まりやすい場所にしたいと考えます。理想は幼児施設から中学校までが1か所にあることですが、用地をどのように確保するのか検討する必要があります。

#### Q 統合後の既存施設の活用

A 今は具体的な結論には至っていません。地元の意向を踏まえ活用方法を検討します。

#### Q 学童保育の充実

A 現在小野新町小学校で実施中で、週3回を週5回に拡充しました。今後、利用状況等をみながら実施体制、実施学校の拡大などを検討します。

#### ◇子育て支援について

##### ▼町長説明概要

人口増に向けての施策が最重要と考えます。他市町村では、祝金支給や中学生まで医療費の無料化などを実施していますが、町としても子育てに関する負担を軽減していくかなければなりません。保育料の軽減や、保育園での入所基準など、どのような方法が良



小野中学校

いのか検討し、予算にも反映させていきたいと考えます。

#### Q 幼児施設時間延長、子供の送迎

A 現行以上のサービスは、送迎のコストや、早朝出勤など、現在の施設・人員体制では困難です。教育委員会では一か所に統合するよう検討しています。現在基本構想を策定中であり、それに基づいて町民のみなさんと協議します。

#### Q 晩婚化の対策

A 過去に出会いの場を提供する事業を行いました。現実には成果を出すのは難しいようです。男女の働く場、就職の場を設けることで出会いの



キッズクラブのようす

場を増やす、土地の安さを活かす、子育てしやすい環境を整えることなど、大きな視野で取り組む必要があります。いろいろのご意見を寄せてください。

#### Q 小野新町小学校児童の送迎対策は?

A 文化の館やヨークベニマルなどで待ち合わせをしている現状もあります。どのような方法がよいのか、みなさんからの意見もいただきながら検討します。